



動力散布機

取扱説明書

HG-WF18

はじめに

このたびは散布機をお買い上げ賜わり厚くお礼を申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取扱と保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

注意文の  危険  警告  注意 の意味について

使用上の注意事項は、下記マークで表示しています。



誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性がある場合のご注意。



誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。



誤った取り扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合のご注意、及び物的損害のみの発生が想定される場合のご注意。



 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本書の内容は、後日変更する場合があります。
本機は国内専用です。

もくじ

はじめに	2
もくじ	3
安全にお使いいただくために	4
各部の名称	6
霧状散布で使用する場合	7
粉剤・粒剤散布で使用する場合	8
エンジンの操作	14
点検整備	16
お客様ご相談窓口	17

安全にお使いいただくために



●作業を始める前に

- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。
- ・騒音から耳を守る為、適切な保護具を使用してください。
- ・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
- ・視界が良くないときは使用しないでください。
- ・各部の操作に慣れ、すばやく停止する方法を習得してください。
- ・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
- ・日常点検を行い、本機を常に良好な状態でご使用ください。
- ・この取扱説明書、及び当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
- ・異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ず本体を停止してください。
- ・作業中は、他の人や動物を近づけないでください。

●燃料について

- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行って下さい。
- ・燃料をこぼさないように注意し、燃料タンクキャップを確実にしめてください。もし、燃料がこぼれた場合はきれいにふき取って下さい。

●エンジン始動時

- ・エンジンを始動する前には使用前点検を必ず行ってください。
- ・調量レバーが「0」になっていることを確かめて下さい。「0」以外の位置にあると、始動と同時に薬剤が吐出します。
- ・排気ガスには十分に注意してください。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

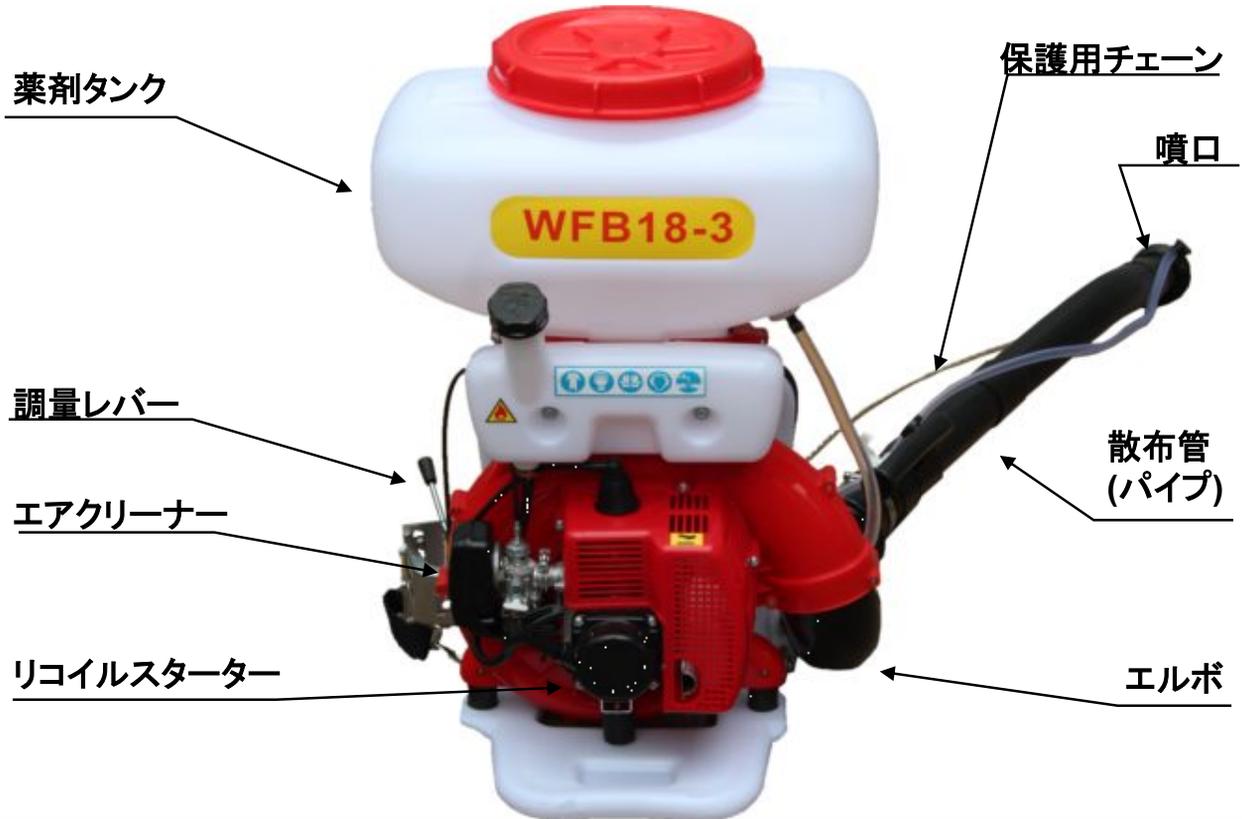
●作業中の注意

- ・薬剤の種類や気温、湿度等の条件により、静電気が発生することがあります。使用時は、保護用チェーンを必ず装着して下さい。
- ・使用前に接続部のパッキンの脱落がないこと、ネジのゆるみや欠落した部品などがなく、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常がないことを確認して下さい。
- ・強酸性、強アルカリ性の薬剤やシンナー、ガソリン、ベンジン等は絶対に使用しないで下さい。
- ・気温が高い時の作業は避けてください。
- ・薬剤の使用にあたっては、薬剤の説明書に従ってください。
- ・タンクに薬剤を入れる時は、必ず備え付けのタンクストレーナ(こし網)を通してください。
- ・充填時にこぼれた薬剤をその場できれいに拭き取って下さい。
- ・薬剤タンク蓋は、薬剤が漏れないように、しっかり締めてください。
- ・散布作業中は常に風向きを考え、風上から風下に散布して薬剤が体に直接付着しないように十分ご注意ください。
- ・お昼気温が高い時の散布作業は避けてください。朝、午後で散布作業お勧めします。
- ・使用後は薬剤タンク内の残液を抜き、清水を入れポンプを数分間(2～3分)運転し、ポンプ、ホース、ノズル等の内部に残っている薬剤をきれいに流してください。
- ・屋内の直射日光が当たらず、風通しがよく、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。自動車等で運搬される場合は、薬剤が漏れないよう、タンク蓋をしっかり締めて、傾かない状態に固定してください。
- ・薬剤の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋、長袖、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行って下さい。

⚠ 注意

- ・燃料は混合ガソリンを使用してください。
- ・薬剤をタンクに投入する際は、調量レバーを「0」の位置にしてください。
- ・タンクの蓋は確実にしめてください。

各部の名称



ハイガー動力散布機は、粉剤・粒剤散布または霧状散布ができます。それぞれの用途に応じて、装置部品の取り付け方が異なります。この説明書をお読みになって用途に合わせて組み立ててください。

霧状散布で使用する場合

1.薬剤タンクの組立

製品出荷時は、霧状散布用のタンク仕様になっていますので、薬剤タンクを組み立てる必要はありません。

粉剤・粒剤散布用から変更する場合は、顆粒用プレートを水用プレートに変更し、水用プレートにホースを接続します。

水用プレートの取り付け方向は、燃料タンク側から見て、左上に穴が開いている円筒突起物が来るように置きます。



霧状散布で使用する場合

2. 散布管(パイプ)の組立

「短いパイプの組み立て」(12ページ参照)を行い、先端に噴霧ノズルを取り付けます。

本体のタンクと噴霧ノズルの間を噴霧用チューブでつなぎます。その際、薬剤スイッチを間に入れます。

薬剤スイッチはクリップBの間に挟んでとめます。



粉剤・粒剤散布で使用する場合

1.薬剤タンクの組立

- ①タンクを止めている左右のナットを緩め、ナットを取り外します。



- ②タンクの底にある水用プレートにつながっているホースを抜きます。



- ③タンク、水用プレートを外します。水用プレートがゴムのパッキンではまっていますので、ゆっくり取り出します。



- ④取り出したあとに、顆粒用プレートをはめます。



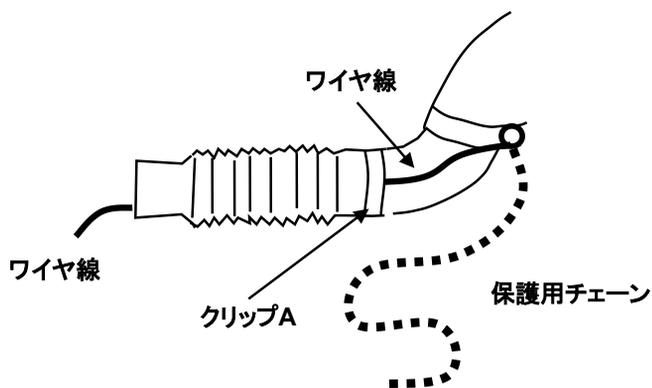
粉剤・粒剤散布で使用する場合

2.アースチェーンの取付け

薬剤を散布すると、薬剤の種類や気温、湿度等の条件により、静電気が発生することがあります。使用時は、保護用チェーンを必ず装着して下さい。



- ・保護チェーンにある取り付け端子をエルボ部にあるボルトを緩め挟んでとめます。
- ・ワイヤ線は、フレキシブルホースを組み立てるとき、ホースの中に通してください。
- ・保護用チェーンは地面に接地させます。



粉剤・粒剤散布で使用する場合

3.散布管(パイプ)の組立

パイプのつなぎ方には、2種類あります。

- ①長いパイプの場合
- ②短いパイプの場合

添付品の部品を写真に示す順番で確実に接続してください。

①長いパイプで使用する場合の組立



粉剤・粒剤散布で使用する場合

3.散布管(パイプ)の組立

②短いパイプで使用する場合の組立



粉剤・粒剤散布で使用する場合

4.吐出量の調整

吐出量の調整が出来ます。必要に応じて適切な位置でご使用ください。



切り替え方法

- ①調量レバーを中間の位置にセットします。
- ②切替アームに取り付けられているアームをピンを抜いて外します。
- ③切替アームを押し下げます。
- ④調量レバーを「0」にセットします。
- ⑤切替アームのセットしたい穴にロッドを差込み、ピンでとめます。

エンジンの操作

●燃料の点検

燃料(潤滑油混合ガソリン)の量を点検します。

- ・燃料タンクの液面を見て残量を確認します。
- ・少ないときは上限の位置まで補給してください。
- ・補給後、給油キャップを確実に閉めてください。

使用燃料 潤滑油混合ガソリン 25:1



⚠ 警告

- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意し、燃料タンクキャップを確実にしめてください。もし、燃料がこぼれた場合はきれいにふき取ってください。

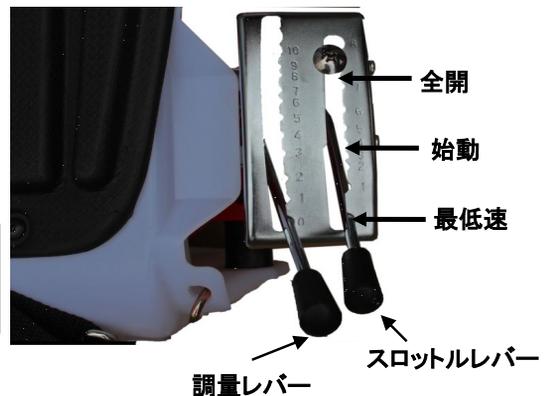
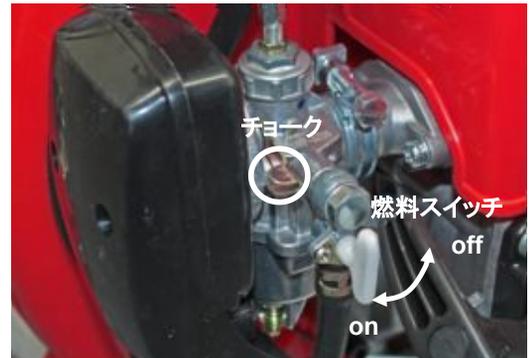
エンジンの操作

●エンジンの始動

- ①燃料スイッチをonにします。(燃料コックを立てにします)
- ②チョークをcloseの位置にします。(エンジンが温まっている時はチョークopen)
- ③スロットルレバーを始動の位置にします。
- ③片手でリコイルスターターノブを数回強く引いてください。
まずノブを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、ノブを一度戻してから勢いよく引くとエンジンがかかります。
- ④エンジンが始動したら、チョークをopenにします。
- ⑤回転が安定したら、散布作業に入ります。

⚠ 警告

・排気ガスには十分に注意してください。



⚠ 注意

- ・エンジンを始動する前には使用前点検を必ず行ってください。調量レバーが「0」になっていることを確かめて下さい。「0」以外の位置にあると、始動と同時に薬剤が吐出します。
- ・紐を引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。
- ・運転中はリコイルスターターを引かないで下さい。エンジンに悪影響をあたえます。

●エンジンの停止

- ①燃料スイッチをoffにします。(燃料コックを横にします)

霧状散布作業中にエンジンをとめる場合は、最初に薬剤スイッチを閉じてから、エンジンをとめます。
粉剤・粒剤散布作業中にエンジンをとめる場合は、調量レバーを「0」の位置にしてエンジンをとめます。

点検整備

- ・薬剤タンク内側、シャッタ周辺、プレートに付着した薬剤を取り除きます。
- ・薬剤タンクのフタはゆるめて下さい。
- ・エアフィルターの汚れ具合を点検し、汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温水で丁寧に洗い、よく乾かしてから取り付けてください。
- ・点火プラグの電極が汚れている場合は、ワイヤブラシなどで取り除いて下さい。
- ・掃除が終了したあと、エンジンを1分ほど低速回転させてください。

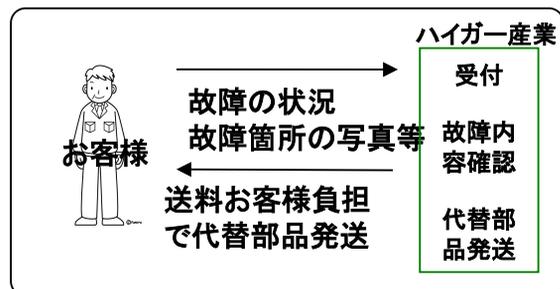
長期保管時のお手入れ

- ①ネジの緩みがないか点検し、緩んでいるところがありましたら、締めなおして下さい。
- ②燃料タンクの燃料を抜き取ります。
- ③エンジンを再び始動させ、キャブレター及び燃料パイプ内の燃料を使い切して下さい。
- ④スパークプラグの穴から少量のエンジンオイルを流し込み、リコイルスターターでゆっくり数回空転させます。
- ⑤エアクリーナーなどを点検し、清掃、乾燥させてから取り付けてください。
- ⑥湿気の少ないところで、チリやほこりが付着しないように格納してください。

お客様ご相談窓口

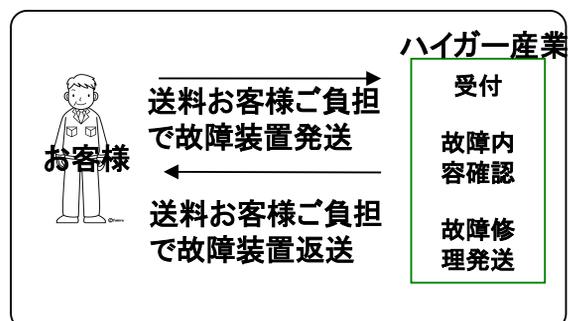
●故障部品をお客様で交換される場合

保証期間内は消耗品を除き壊れた部品は当社で保証します。
送料は全てお客様のご負担となります。



●故障品をメーカーで修理する場合

保証期間内の本体修理も無料で承ります。
その際に生じる往復の送料はお客様のご負担となります。



修理を依頼される時は
下記の事項をご連絡ください。

- ① 故障の状況
- ② 型式
- ③ ご購入年月日
- ④ お名前、ご住所、電話番号

お問合せ先

本社 ハイガー産業株式会社

〒370-0503

群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

TEL0276-55-2275 FAX0276-55-2276

